# 【栃木県こども(地域)食堂情報交換会２０２６を開催しました】

令和８年１０月２１日(水)
とちぎ福祉プラザ１階多目的ホール

県内のこども食堂運営者・応援企業・市町行政・市町社協が一堂に会し情報交換会を開催しました。
第１部では、NPO 法人全国こども食堂支援センターむすびえ　川添さんのお話の後、こども食堂３団体と応援企業がそれぞれエピソードを発表しました。第２部のグループワークでは、それぞれのこども食堂で実践している工夫や、困りごとなど…話が盛り上がり時間が足りないくらいでした。




**「話題提供」**

ＮＰＯ法人全国こども食堂支援センター・むすびえの川添さんをお迎えし、「こども食堂がつなぐもの　―子ども・地域・企業・学校、「もしも」のとき ―」と題し、地域が求める居場所とこども食堂について、その重要性や背景などをお話いただきました。　また、被災した熊本県で、いかにこども食堂が重要な役割を果たしたか、もしもの時どんな事ができるのかなどもお聞きすることができました。

**「エピソードトーク」**

・tetote.life ましこ町子ども食堂　長谷沼さん
・こども食堂ママピアテラス　加藤さん
・一社)生命保険協会　東さん
・子ども食堂さくら　高橋さん

むすびえの保坂さんを交え、こども食堂を運営・応援している中で「心が動いたこと」をお話いただきました。同じこども食堂を運営する仲間として、皆さん頷き共感しながら聞いていました。




**「グループワーク」**

７グループに分かれてグループワークを行いました。地域によって違いがあったり、色々なこども食堂の形があったり…。「そうだよね！分かる分かる！」「今度お邪魔してもいい？」普段は交わらない方たちが繋がりを持つことができる。こども食堂は、始めることより継続が難しいと言われています。サポートセンターはこれからもできる支援をして行きたいと思います。

